

御殿場

# 十字の園

(題字 鈴木生二)

発行/総合福祉施設  
御殿場十字の園  
施設長 高橋雅昭

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1

TEL 0550-83-1999

FAX 0550-82-5189

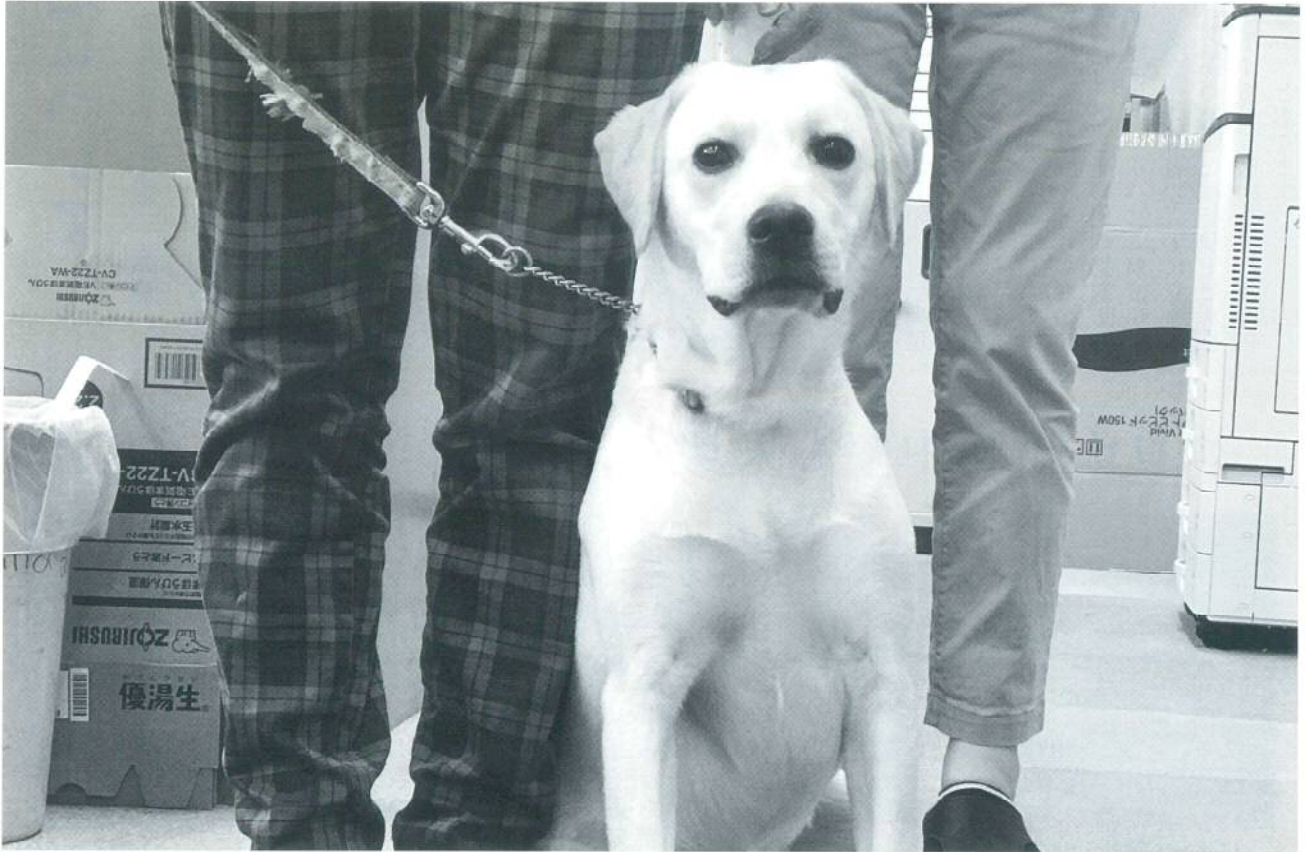
<http://www.jyuji.ne.jp>

e-mail:info@g.jyuji.or.jp

印刷/大和印刷株式会社

2020  
No.223

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



ただいま訓練中

犬と私の10の約束 その2 私を信じてください。それだけで私は幸せです。  
(Place your trust in me. It's crucial to my well-being.)

わたしは「セラ」十ヶ月♀ 御殿場十字の園セラピードッグになれるように訓練しています。  
(セラピードッグ:人と接し信頼・コミュニケーションを通じて人の心身を癒やすことの出来るパートナー)

イルド

理事長 鈴木 淳司

「従う道に思いを重ねて」

主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷父の家を離れてわたしが示す地に行きなさい。」

創世記十二章一節

右の聖句は初代理事長の鈴木生二さんが、浜松から御殿場へ移ることを思案している時、年初めの日曜礼拝での聖句に使命を見出し、家族に相談せず、み言葉に従いました。ついていく家族も神様に従う道です。

生二さんは、「浜松での十年、独立して仕事をしたつもりでしたが、敷地を出れば聖隷保養園。思えば聖隷に支えられていた。ところが御殿場は敷地二千坪あるが、一歩外に出ると、全く別の土地。今度は地域と肌の触れ合う施設にしていきたい。必要として下さる地域の人々に支えられ、地域の人々のために、地域に密着した施設となる仕事をやりたいと願っている次第だ。」と語られていました。私たちも思いを重ねて参ります。

## サービス評価について

御殿場十字の園施設長 高橋 雅昭

新型コロナウイルスが世界的になった二〇二〇年も気が付くと十一月となり、季節を感じる機会も少ないまま過ぎ去りようとしています。思い返しますと私が施設長に就任させていただいてから今まで新型コロナウイルスに振り回されてきました。

外出の機会が制限され例年皆さんが楽しみにしていた年二回の遠足などは中止になり、七月に行われていた夕涼み会も中止となりました。また盛大に開催されている園遊会（敬老会）は規模を縮小して開催せざるを得ない状況でした。規模を縮小して開催された園遊会ではありましたが、面会できないご家族からのお手紙などを職員が代わりに読ませていただいたり、各ユニットごとでそれぞれ出し物をしたりするなど創意工夫で盛り上げてくれました。ピンチをチャンスにはありませんがコロナ禍でもできることはあるのだと嬉しく思いました。しかしながら感染予防が第一ということとは当然のことですが、このような状況が続くと面会ができないご家族の気持ちを考えたり、

日々来ていただいていたボランティアの方々とお会いしたりできない状況が続くことに歯がゆさを感じます。

そのような状況の中で感じることは、外の方に施設に来ていただくことの大切さです。ご家族と会い、またボランティアの方に来ていただいで直接触れ合うことによる喜びが得られる等非常に大きな存在であるということに改めて気づかされました。また、施設に来ていただくことで外からの気付きや指摘をいただくことにより、施設のサービスの質の改善などにつなげることができま

す。私たちが提供している福祉サービスについては、ともすると独りよがりなものや自己満足に陥りやすい危うさがあります。社会福祉法第七八条には「社会福祉事業の経営者は、自らその提供する福祉サービスの質の評価を行うことその他の措置を講ずることにより、常に福祉サービスを受ける者の立場に立って良質かつ適切な福祉サービスを提供するよう努めなければならない」とあります。

## コロナ禍の中でも大切な人と繋がりますように



遠方でも見えるけれど会いたいね



皆どうしている？  
家の方もどう？



会えて嬉しいよ。元気になっている？



住んでいる所は別だけれど  
お互い頑張ろうね

三月より面会制限が始まり、「どうしているのかな？」の声に電話で会話をしたり、五月からオンライン面会を始め、六月には写真で様子をお知らせしたりしました。面会の一部緩和をして一時中断はありましたが多くの方が限られた環境の中でお会いする機会を設けることが出来ました。改めてご家族との結びつきの強さを感じました。久しぶりの再会に涙したり笑顔が溢れたり温かい時間を過ごされました。

面会も地域が限られたり、近くでお話できなかったりと制限はありますが今、出来る事で大切な方々と繋がって安心して生活が出来ますようにこれからも機会を作っていきます



サービスの質の評価の方法については内部からの評価と外部からの評価の方法が考えられます。内部（自己）評価については「サービス基準指針」という独自の指針を設け、毎年全職員で自己評価を行い、自分たちの提供しているサービスの質を確認しています。一方外部からの評価に関しては福祉サービス第三者評価を受審するという方法があります。福祉サービス第三者評価というのは、事業者の提供する福祉サービスの質を、当事業者（事業者及び利用者）以外の公正、中立な第三者機関が、専門的かつ客観的な立場から評価するものです。効果については事業者にとっては利用者から選択される質の高いサービスを提供することができる。また、利用者にとっては、自らにふさわしいより質の高い福祉サービスを選択する情報を得ることができるということです。現在静岡県では第三者評価機関は七つあります。

当施設は今年度第三者評価の受審を予定していましたがやはり新型コロナウイルスの影響で困難な状況になっています。やはり何をするにも心配の要らない日常に戻ることを願わずにはいられません。

## 新型コロナウイルス対策に関する研修

新型コロナウイルスの収束の目途が立たず、市内でも感染者が発生する中、施設内の感染者発生に備え、研修を行いました。研修前の施設の一部の職員にアンケート行ったところ、「実際感染が起きた際には自信がない。」との回答が七十五パーセントであり、発生への対応に不安を持っている職員が多くいる事も伺えました。そのような中、正しく対応策を習得し具体的に演習を行うなどの研修を各事業所で行いました。

特養 高木 直也



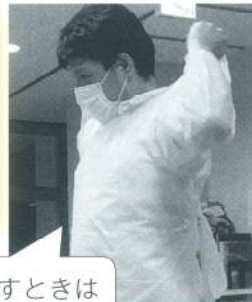
杉山看護課長からの講義



防護服の着脱手順を皆で確認

### ～研修の主な内容～

- ・ 手洗いの手順
- ・ 防護具の着脱手順
- ・ ゾーニングについて
- ・ ゾーンの出入りの際の手順
- ・ 感染者発生に備えておくべき事等



ガウン外すときはこうやって……。

施設内でコロナ陽性者が発生した際は保健所の指示に従いつつ、感染の収束に向けた対策をとる事などを共有しました。

## フラワーアレンジメント

～コロナ禍での花の友の会～

レクボラ委員会

新型コロナウイルスの影響により、フロアを超えての関わりや花の友の会を控えておりましたが、レクボラ委員会で話し合い、感染症対策をしつつ、それぞれのユニットで分散してフラワーアレンジメントを楽しんで頂きました。

この花は今年の園遊会のお祝いのテーブル花として飾られました。更に今後はご家族とのつながりと楽しみを考えながら企画したいと思います。



特養トピックス

特養の園遊会

～今年だから盛りだくさん～



ピアノ伴奏に合わせ、歌を歌いました。



記念品を頂いて

今年の園遊会はいつもと違ってユニットごとで式典を行い、職員が工夫を凝らしてアトラクションやイベント等を行いました。楽しんで頂き、お祝いしましたが、その様子の一部ですが、紹介いたします。



式典の司会もそれぞれにて



みんなで記念写真



孫からの手紙に思わず顔がほころびます。



高橋園長からの挨拶



金太郎と相撲？(笑)



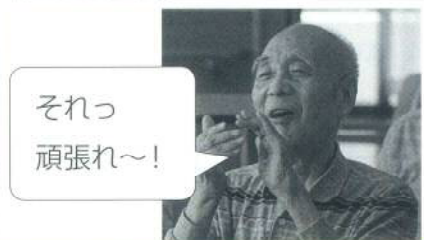
着物ショーに釘付け



のんびり楽しく



盛り上がったけん玉ショー



それっ 頑張れ～!



それっ 頑張れ～!



ケアハウス

敬老会

御殿場アドナイ館 武山 幸浩

九月十一日に敬老会を行いました。昨年までと違い、今年はコロナウイルス感染予防で、密を避けるために、施設全体での式典はせずに各部署ごとの開催となりました。ケアハウスでは、昼食後に、ビンゴゲームを行い、用意した景品をお持ち帰りいただきました。その後、職員による手作りのケーキと自家焙煎のコーヒーなどを楽しみ、施設長による、米寿のお祝いの贈呈で終了しました。小規模ながらも和気あいあいとした時間でした。他のイベントが中止になる中、敬老会が出来ることは皆さんにとっても、私たち職員にとっても貴重な時間を過ごしたと感じております。

ケアハウス

笑みの里の園遊会



二人羽織  
盛り上がりましたね。

職員扮する  
←“ひとみばあさん”  
が登場！



高橋園長より  
お祝いの言葉

カンパニー！！  
おめでとう



人生の先輩である皆様と関わる中、  
人としての学びも多く頂いています。  
感謝の気持ちを忘れないようにして、  
これからも頑張りたいと思います。  
笑みの里職員一同

在宅トピックス



食後の片付け。食器が綺麗に並んでいく美しさを、  
私達は毎日見せていただいています。

デイサービスでは、「来て良  
かった!!」「また次も来たい!!」  
と想っていただけのようなデ  
イサービスを目指し、一人一  
人に合わせたサービスを提供  
しています。

デイサービスでの過ごし方



脳トレプリント。緻密な色合いの出来上がりを見てくださいね。



ボランティアさんの代わりにおしぼりたみをしてくださっています。



バランスゲーム。高度な技が必要です。



季節の工作。句を先取りして創っています。

中川正枝

## ボランティアの「つく

デイサービスを利用してくださる皆さんにお願いしました。

多くのボランティアの皆さんには「この世界的なコロナ禍が終息して再開の際にはお願いします。」と約束をして、しばしのお休みを願っています。

リネン・洗濯室は新型コロナウイルスの影響を最も受けた部門の一つです。ここはボランティアの皆さんの協力無しには業務が成り立ちません。毎日多くの方々に、洗濯・乾燥が完了した衣類や



多くのタオルを畳んでいたでいていました。

今回、大量のタオルを用途・サイズで分別してカゴに納めていく作業を、デイサービスを利用してくださる皆さんにお願いしました。「無理しないでくださいね。」と声をかける間もなく、山のようにあつたタオルがあつという間に無くなつていく様は壮観でした。皆様本当にありがとうございます。

## 苦情受付と対応

2020.3.18~9.15

くろっちょ	2件
居宅支援介護	1件
訪問介護	1件
御殿場デイ	1件
笑みの里	1件
特養施設	1件

内容については連絡の不徹底・介護方法・接遇などで初期の対応で解決しました。

苦情はサービス向上のための気づきとして受け止め周知徹底を図っています。

## ほつくばら みんなで支える移動支援プロジェクト

九月八日より、北久原区民で自家用車がない六十五歳以上の高齢者を対象に買い物支援が始まりました。御殿場十字の園では福祉車両を貸し出し、地域活動の運営へのお手伝いをさせて頂いております。週に一回程度のペースで活動してい



ます。利用された皆さんからは、「自宅まで送ってくれからたくさん買い物ができる」、「自分で商品を選べるから嬉しい」、「またぜひ利用したい」等のたくさん喜びの声が上がっています。



## あとがき

明治初年に日本に入ったと言われる花卉が四枚のコバルトブルーの小さな花『オオイヌノフグリ』。野草凶鑑等には必ず収録されている身近な花ですが環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。ラテン語の学名はベロニカ(Veronica)。十字架を背負い歩くイエスの額の汗を、差し出したハンカチで拭いた女性の名です。花言葉は信頼、神聖、清らか、忠実。私達施設本館一階ホールは彼女の名前です。実はこの花は施設周辺で容易く見つけられます。来年の春、心落ち着けて足元の野草花を見ていられることを願います。手元に最新号を。

(やまもと)

